

野菜の需給・価格動向レポート(平成23年7月4日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		6月の価格動向				生育及び価格の7月の見通し
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額			
			上旬	中旬	下旬	
葉 茎 菜	キャベツ	67.2	37	42	75	・入荷見込量：15,103t (102) ・主産地：群馬 (61)、岩手 (14)、茨城 (8) ・群馬産は高温の影響により生育が停滞気味で少なめの出荷となっているが、今後は生育が回復し順調な出荷となる見込み。岩手産は定植時期が遅れたこと等から生育遅れ、小玉傾向がみられ、平年より少なめの出荷となっている。 ・出荷量が少なめと見込まれることから、価格は上旬は平年をやや上回って推移するが中旬は平年並みの見込み。
		81.66	44	59	88	
	ねぎ (関東：白ねぎ。 関西：青ねぎ)	264.1	337	255	253	・入荷見込数量：3,979t (102) ・主産地：茨城 (61)、千葉 (15)、輸入 (8)、埼玉 (7) ・茨城産は順調な生育で平年より多めの出荷となっている。千葉産は少なかった前年よりは多いものの、平年並みの出荷量で推移する見込み。 ・茨城産の順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		334.73	371	333	336	
	はくさい	67.05	47	58	63	・入荷見込量：6,024t (100) ・主産地：長野 (86) ・長野産は順調な生育となり平年並みの出荷となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれる一方、需要の伸びが見込めないため価格は平年並みか弱含みで推移する見込み。
		82.06	84	68	67	
	ほうれんそう	376.1	418	442	435	・入荷見込量：931t (98) ・主産地：群馬 (24)、茨城 (21)、栃木 (21)、岩手 (18) ・茨城産は震災、原発の影響で作付面積が減少しており、今後も少なめの出荷が続く見込み。群馬産は6月中旬の降雨とその後の気温上昇により品質低下がみられ、少なめの出荷となっているが、中旬以降増加が見込まれる。 ・群馬産の出荷量の増加が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		396.89	478	580	562	
	レタス	126.45	144	117	107	・入荷見込量：8,516t (100) ・主産地：長野 (83)、群馬 (12) ・長野産、群馬産ともに準高冷地から高冷地への出荷の切り替わりの時期となっているが生育は順調で、平年を若干上回る出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みかやや弱含みに推移する見込み。
		132.22	176	125	116	
	たまねぎ	71.02	58	64	68	・入荷見込量：10,135t (110) ・主産地：佐賀 (44)、兵庫 (26)、香川 (10)、輸入 (4) ・佐賀産は降雨の影響で少なめの出荷となっている。収穫は終了し今後は貯蔵ものの出荷となる。少なかった前年よりは多い見込み。兵庫産は収穫が終了、平年並みの出荷の見込み。 ・府県産の順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		71.02	65	68	68	
果 菜	きゅうり	189.84	342	224	287	・入荷見込量：7,928t (97) ・主産地：福島 (41)、岩手 (18)、秋田 (11)、宮城 (5)、埼玉 (4) ・福島産は春先の低温、作付開始の遅れから生育遅れがみられ、露地ものの本格的な出荷の開始は上旬の見込み。岩手産も出荷開始が遅れており、中旬から本格的な出荷の見込み。 ・東北産の本格的な出荷開始が遅れていることから、価格は平年を上回って推移する見込み。 (※トピック欄参照)
		177.22	317	265	290	
	トマト	209.6	295	280	315	・入荷見込量：8,328t (100) ・主産地：青森 (19)、茨城 (12)、栃木 (11)、福島 (10)、千葉 (9)、岩手 (8)、群馬 (8)、秋田 (5) ・青森産は生育の遅れからやや少なめの出荷となっている。今後は徐々に出荷量が増加する見込み。栃木産は震災後の定植の遅れからやや少なめの出荷となっているが、天候が回復すれば平年並みの出荷の見込み。 ・東北産、関東産の夏秋ものの出荷が遅れていることから、価格は平年を上回って推移する見込み。
		228.5	291	299	340	
	なす	297.1	410	412	469	・入荷見込量：4,790t (98) ・主産地：群馬 (27)、茨城 (26)、栃木 (26)、埼玉 (8) ・群馬産・茨城産ともに5月の日照不足の影響により、生育が遅れ少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷が続く見込み。 ・少なめの出荷量が見込まれることから、価格は平年を上回って推移する見込み。
		285.3	354	391	374	
	ピーマン	251.5	454	334	368	・入荷見込量：2,064t (100) ・主産地：茨城 (60)、岩手 (25) ・茨城産は、出荷の終盤を迎え減少傾向だが、出荷量は平年並みに推移する見込み。岩手産は低温少雨の影響で生育が遅れ、少なめの出荷となっている。 ・岩手産が遅れていることから、価格は平年を上回って推移する見込み。
		253.95	423	358	427	
根 菜	だいこん	91.15	75	72	87	・入荷見込量：8,386t (95) ・主産地：北海道 (50)、青森 (42) ・北海道産は、播種時期が遅れたことにより1週間～2週間遅れており、7月中旬までは少なめの出荷が続く見込み。青森産は、順調な生育で平年並みの出荷で、下旬には出荷のピークを迎える見込み。 ・青森産の順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		104.71	75	83	100	
	にんじん	133.01	125	105	102	・入荷見込量：5,538t (100) ・主産地：青森 (45)、千葉 (27)、北海道 (18)、輸入 (5) ・青森産は、生育の遅れが生じていたが、天候の回復とともに順調な出荷となっている。千葉産は出荷の終盤を迎え、中旬には出荷終了となる見込み。 ・青森産の潤沢な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		139.6	108	108	116	

種類		6月の価格動向				生育及び価格の7月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額				
			上旬	中旬	下旬		
い も	さといも	344	802	606	414	・ 鹿児島産は、冬場の低温の影響で少なめの出荷となっていたが、作柄が回復し平年並みの出荷となっている。今後も平年並みの出荷が見込まれる。宮崎産は生育が遅れ、少なめの出荷となっているが、今後増加する見込み。 ・ 価格は平年並みに推移する見込み。	
		347.9	1009	593	437		
	ばれいしょ	131.8	197	167	142		・ 茨城産・千葉産ともに順調な出荷の見込み。静岡産は6月下旬から本格的な出荷開始となり、平年並みの出荷の見込み。 ・ 価格は、平年並みに推移する見込み。
		131.8	206	167	156		

1) 平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。
2) 旬別平均販売価額の背景なしは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回るもの(消費税は除く)。
3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック

1) 入荷見込量は関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは前年実績。
2) 主産地は東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
3) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

2 野菜の需要動向

家計調査でみると、5月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、5.171gで対前年比105%、購入金額は、1,820円で同93%となり、購入量は前年を上回ったが、購入金額は前年を下回った。

また、小売物価統計によると、6月のキャベツの小売価格は103円で過去5年平均比65%、レタスは295円で同82%となり、キャベツ、レタスともに過去5年比を下回り、特にキャベツが大きく下回っている。

1 生鮮野菜の購入量及び金額

(1人当たりの購入量、金額)

年		過去5か年平均		平成22年		平成23年			
月	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	前年比	金額 (円)	前年比	
1月	4,189	1,529	4,240	1,551	4,310	102	1,573	101	
2月	4,391	1,544	4,461	1,574	4,267	96	1,629	103	
3月	4,767	1,695	4,970	1,768	4,867	98	1,788	101	
4月	4,732	1,808	4,518	1,884	4,796	106	1,789	95	
5月	5,094	1,902	4,925	1,965	5,171	105	1,820	93	
6月	5,033	1,880	5,026	1,907		0		0	
7月	4,438	1,683	4,264	1,697		0		0	
8月	4,272	1,732	4,241	1,733		0		0	
9月	4,868	1,806	4,606	1,818		0		0	
10月	5,314	1,849	4,994	1,959		0		0	
11月	4,997	1,614	4,678	1,774		0		0	
12月	5,212	1,817	5,177	1,887		0		0	

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

2 主要野菜の月別小売価格(東京都都区部)の推移

(単位：円/kg)

	キャベツ			レタス		
	過去5カ年平均	平成23年	5カ年比(%)	過去5カ年平均	平成23年	5カ年比(%)
H22.7月	149	164	110	315	317	101
8月	159	166	104	449	536	119
9月	153	155	101	472	515	109
10月	146	192	132	419	668	159
11月	129	265	205	339	520	153
12月	146	185	127	456	393	86
H23.1月	189	186	98	618	502	81
2月	173	228	132	496	635	128
3月	181	206	114	455	435	96
4月	250	195	78	464	348	75
5月	185	127	69	399	277	69
6月	159	103	65	360	295	82

注1：過去5カ年はH22.7～はH17～H21、H23.1～はH18～H22の平均

注2：6月の値は、6月中旬の速報値

資料：総務省統計局「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

平成23年5月までの輸入量を貿易統計でみると、生鮮野菜は前年同期比126%の45万トン、野菜輸入量全体でみると同116%の119万トン、うち中国産同116%の119万トンとなり、引き続き前年を上回って推移している。

野菜等の輸入数量の推移について

(単位：トン、%)

区分	平成21年		平成22年		平成23年1~5月		平成23年5月
		前年比		前年比		前年同期比	前年同期比
生鮮野菜	615,271	102	820,687	133	448,411	126	110
加工野菜	1,569,627	95	1,677,840	107	742,627	111	113
野菜輸入量合計	2,184,898	97	2,498,527	114	1,191,038	116	112
うち中国産野菜合計	1,098,415	95	1,284,449	117	581,363	121	112
中国産シェア	50		51		49		

資料：ベジ探（原資料）財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向

(単位：トン、%)

品目	輸入先	(A)2010.6	(B)2011.6	(B)/(A)
たまねぎ	合計	29,683	13,588	46
	中国	27,499	12,982	47
	オーストラリア	427	318	74
にんじん	合計	4,816	3,516	73
	中国	3,976	2,940	74
	ニュージーランド	635	374	59
ねぎ	合計	4,083	2,951	72
	中国	4,081	2,949	72

資料：農林水産省「植物防疫統計」（2011.6）は、6月18日までの速報値である。

4 トピック

きゅうりの需給動向について きゅうりは、これから東日本大震災で被害を受けた東北産、特に福島産を中心とした出荷が本格化する。 福島産の野菜はこれまで風評被害の影響で県外に出荷することが難しい状況となっていたが、きゅうりは6月から徐々に県外への出荷が増え平年並みに近づいてきている。今後は平年並みの天候が見込まれていることから、安定した入荷量になると思われる。 価格については、例年この時期の福島産は他産地より高値で取引されるが今年は昨年に比べると価格差が小さいものの、他県産よりは1割程度高値で取引されている。 今後とも、的確な情報に即した販売が求められるとともに、被災産地への支援のためにも、消費拡大に努めることが重要と考えられる。	東京都中央卸売市場における福島産のきゅうりの価格と入荷量比	きゅうりの産地別旬別入荷量比較(対前年同月)
	<p>福島産きゅうりの他県産との価格差 (2011年6月)</p> <p>参考</p> <p>福島産きゅうりの他県産との価格差 (2010年6月)</p>	<p>きゅうりの産地別旬別入荷量比較(対前年同月)</p>
資料: 「ベジ探」、原資料: 農林水産省「青果物日別取扱高統計結果」		